FK シリーズ トランスデューサ

仕様書

FK-263F トランスデューサ

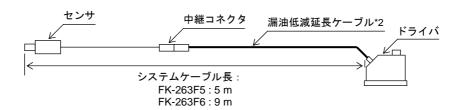
~漏油低減延長ケーブル FW-263F*-**/FP0 適用時~

Page 1 of 2

(€

| | 仕 様 | | ご使用上の注意事項 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 標準校正ターゲット | JIS SCM440 平面 | 1 | |
| 測定範囲 | センサトップより 3 mm~29 mm の範囲 | ١. | ・ 校正ダーケットについて 校正は、ターゲットSCM440平面(ø155 mm以上)で行っております。 ターゲットの材質・形状が異なる場合、出力特性(ゲイン)が変化しま すので、後続の機器で補正してご使用ください。 |
| 感 度*1 | 0.4 V/mm | | |
| 感度誤差*1 | ±4 %以内 | | |
| 直線性*1 | 0.4 V/mm の直線に対し±250 µm 以内 | 2. | 信号伝送ケーブルのシールド線の処理について |
| | (システム調整時) 0.4 V/mm の直線に対し±400 μm 以内 (互換性エラー含む) リニアレンジ 26 mm | | FKドライバ〜モニタ間に使用する信号伝送ケーブル(3芯シールド・ ーブル)のシールド線はドライバのCOM端子(スプリングロックターナルの場合:Shield端子)およびモニタのCOM端子に接続ください。 続していなかった場合、ノイズが重畳する可能性があります。 |
| 周波数応答*1 | DC~200 Hz 以上 (-3dB) |] _ | |
| 最大出力電圧*1 | 約 -23 VDC | 3. | 中継コネクタの絶縁処理他について |
| センサ異常出力電圧*1 | 約 -0.6 VDC (センサ断線・センサ短絡時) | 1 | センサと延長ケーブルを接続する中継コネクタの部分は、必ず付属の |
| | 50 Ω 電流 5 mA (max.) | ĺ | 熱収縮チューブなどで絶縁を行ってください。 |
| 消費電流(10 kΩ負荷) | 最大 -15 mA | ĺ | 絶縁用ビニールテープは使用しないでください。 |
| 出力ノイズ*1 | 約 20 mVpk-pk + 電源ノイズ | 4. | 信号伝送ケーブルのメガテストについて |
| センサトップ径 | 約 Ø50 mm | | 信号伝送ケーブルのメガテストを行った場合、テスト後は必ず充電電 |
| ケーブル径 | 約 ø3.6 mm | İ | 荷を放電した上で、ケーブルをドライバに接続してください。 |
| コネクタ径 | 約 ø7.1 mm | İ | 充電状態のままドライバまたはモニタにケーブルを接続すると故障の |
| システムケーブル長 | 5 m または 9 m | İ | 原因となります。 |
| センサケーブル色 | 青色 | 5. | センサの設置場所について |
| 延長ケーブル色 | 黒色 | | センサに雨水がかかる屋外では使用しないでください。 |
| 使用温度範囲 | センサ : -40~+125 °C | İ | センサの感度変化及び絶縁低下の原因となります。 |
| | 延長ケーブル : -40~+125 °C | 6. | システム調整品について |
| | ドライバ : -40~+80°C | | システム調整品の場合はセンサ、延長ケーブル、ドライバは検査成績 |
| 温度特性 | センサ : ±3 % of F.S.以内 | Ì | 表に記載された製造番号の組み合わせで接続ください。製造番号の組 |
| (温度ドリフト) | 延長ケーブル : ±3.5 % of F.S.以内 | | み合わせを間違えると所要の特性が得られません。 |
| | 条件:ギャップ=25 mm, ターゲット:JIS SCM440 | 7. | 直線性について |
| | 20 °C基準で0 °C∼80 °Cの範囲 | | 直線性は弊社工場での試験結果を規定するものです。 |
| | ドライバ : ±3 % of F.S.以内 | | 現場校正の場合にはこの規定値は適用されません。 |
| | ループ : ±4 % of F.S.以内 | 8 | 本システムを安全にご使用いただくための重要な条件等の情報が |
| | 条件: ギャップ=25 mm, ターゲット:JIS SCM440 | 0. | 取扱説明書に記載されております。 |
| | 20 ℃基準で0 ℃~60 ℃の範囲 | ļ | 安全を確保するために必要な情報であり、重要な条件のため、 |
| 使用湿度範囲 | 30~95 % RH (非凝結、非浸せき) | | 必ず本システムを扱う上で事前に取扱説明書を熟読してください。 |
| | (ただしセンサ本体は100 % RH) | ٥ | ケーブル長5.0mのセンサは、5mシステムにて御使用願います。 |
| 電源 | -24 VDC±10 %以内 | J. | 9mシステムには使用できません。 |
| ドライバ部耐電圧 | 各端子-マウンティングプレート間 : 500 VAC×1分間で漏れ電流1 mA以下 | | 9111ンステムには使用できません。 |
| ドライバ部絶縁抵抗 | 各端子-マウンティングプレート間: 500 VDC時100 MΩ以上 | | |
| 適合電線サイズ | M4ねじ式端子台時 : 0.75~2mm ² | | |
| | スプリングロックターミナル時 : 0.2~1.5mm² | | |
| ドライバ質量 | 約 200 g | ļ | |
| 漏油低減性能*2 | センサ側コネクタ部を油中加圧放置(0.05 MPa, 7日 間, 室温下)にてドライバ側コネクタ部から漏油なし (ケーブル長 4 m時) | | |
| *1 の仕様は、標準校正ターゲット $SCM440$ 平面($T=5$ mm以上)、 -24 VDC電源電圧、負荷抵抗 10 k Ω 、周囲温度 25 °Cの条件下におけるものです。 *2 漏油低減性能は、延長ケーブル部に適用されます。 | | | |
| その他 | | | |

構 成



FK シリーズ トランスデューサ

仕様書

FK-263F トランスデューサ

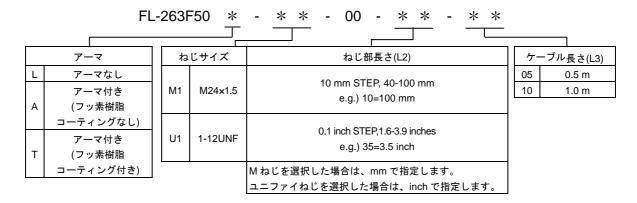
~漏油低減延長ケーブル FW-263F*-**/FP0 適用時~

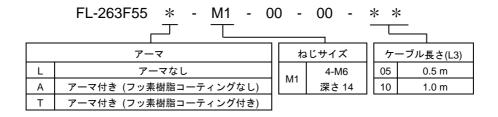
Page 2 of 2



型名コード / 付加仕様コード(付加仕様コードは指定を)

■センサ

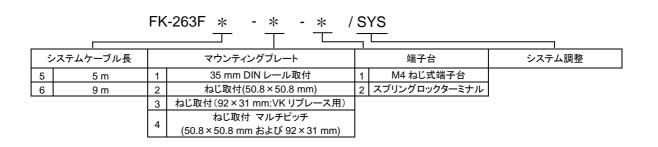




■延長ケーブル



■ドライバ



6H15-022 Rev.4 発行日:2015年7月 改定日:2019年4月